

皆さんから寄せられた写真

文化財担当で募集していた古写真ですが、皆さんから寄せられた写真を紹介します。この他にも多くの写真をお寄せいただきました。紙面の都合上全て紹介することはできませんが、ご協力ありがとうございました。



①青柳村競馬大会

大正6年(1917)に大字新宿の寄島で行われた競馬大会の様子を写したものです。写真下部中央には馬が走っている姿が見て取れます。



②丹荘村役場

昭和4年(1929)に撮影された丹荘村役場の写真です。写真に家屋^{ひきかた}方※の文字が見られることから村役場を解体せずに移動させたということがわかります。調査中ではありますが、町に残る丹荘村役場の写真で一番古い可能性があります。さらに役場をそのまま移動させていたという事もこの写真により新たにわかりました。

※家屋^{ひきかた}方…建物を解体せずにそのまま移動させる建築工法



③渡瀬旧道

年代不明ですが、現在の渡瀬小学校の前の道を撮影したものです。道の両端に水路が流れていることがわかります。

古い写真はとても重要

家の中に眠っている古い写真の中には、貴重な情報が詰まっていることがあります。今では無くなってしまった建物、開発が進み様子が変わった自然のほか、現代では見られなくなった人々の生活や習慣が写真として残されています。

撮影された年代と場所が特定できる写真は、現在の町の状況と比べられることから重要な歴史的資料となりえます。

昔の写真探しています

【探している写真】

- 町の風景
- 人々の暮らし(農業や養蚕)
- 地域の行事(お祭りなど)



丹荘村役場の写真のように町の歴史解明に繋がる写真があなたのお家に眠っているかもしれません。お持ちの方は文化財担当までご一報ください！

県道矢納鬼石線

12月号の特集記事でも触れましたが、県道が開通するまで神泉地区へ向かう際は群馬県に一度入らなければなりませんでした。明治時代の記録を見てみると、当時の渡瀬村と阿久原村が県へ道路開通の願書を出しています。しかし、山と川が接近している難所であることから開通には至りませんでした。明治時代からの願いが実現するのは、昭和になってからです。昭和47年(1972)にようやく工事が開始され、開通が61年(1986)に行われました。この道路の開通により神泉地区へ直接行き来できるようになりました。

①は昭和42年(1967)に開催された国体リレー時の様子で、渡瀬側から撮影されたものです。この当時、県道は開通しておらず渡戸橋を渡り鬼石を経由して神泉へと向かいました。②の写真は撮影年代は不明ですが、現在の下阿久原交差点付近を撮影したものです。

渡戸橋交差点(2024)



57年後

①国体リレー時(1967)



下阿久原交差点(2024)



②県道矢納鬼石線(年代不明)

